

さがの土地改良

佐賀県土地改良事業団体連合会
～水土里ネットさが～



[写真] 松梅かし祭り 2019 より（佐賀市大和町大字梅野広坂有木地区）

CONTENTS



年頭あいさつ	1	どかいれんの話	11
第42回 全国土地改良大会（岐阜県）	6	○佐賀県豪雨被災地視察 ○災害復旧業務支援	
農業農村整備の集い	7	○複式簿記導入促進研修会 ○換地関係異議紛争処理実務研修会	
佐賀県NN推進協議会 要請活動	7	○土地改良区役職員研修会	
九州NN推進協議会土地連九州協議会 要請活動	7	○全国水土里ネット女性の会設立総会及び研修会	
令和2年度 土地改良関係予算	8	○～ひとこと～	
土地改良区役職員のみなさまへ	9	ご案内	12
「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展入選	10	○非補助農業基盤整備基金 ○土地改良施設賠償保険	
		○土地改良法律相談 ○会員のうごき	
		○連合会手帳 ○編集後記	



新年のご挨拶

佐賀県土地改良事業団体連合会
会 長 田 島 健 一

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、ご家族ともども健やかで希望に満ちた新年をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。また、佐賀県土地改良事業団体連合会の運営につきましては、日頃から格別のご支援をいただき厚くお礼申し上げます。

昨年は、8月に発生しました前線に伴う記録的な豪雨によりまして、県内各地で甚大な被害が発生しました。改めて犠牲となられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災された方々にお見舞いを申し上げます。

今後は、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

更に本県においては、もともとの日照不足に加えて、その後の台風による塩害、秋ウンカといった多くの要因が重なり、作況指数5.8という大凶作の年となってしまいました。今年は、実り多き良い年となるよう祈っております。

さて、令和2年度の国の農業農村整備関係予算に触れてみますと、予算を確保している中で概算決定額4,433億円と、前年度から若干の増額となっており、これに補正予算や「臨時・特別の措置」を加えると、6,515億円という大きな予算となりました。

しかしながら、今後も事業の計画的な推進のためには、当初予算で必要額を確保していくことが重要であり、その適正な執行により本県農業農村の振興が図られると考えております。

また、昨年4月には土地改良区の組織・運営に関する「改正土地改良法」が施行され、管理する資産評価を踏まえた運営など、体制の強化を図る必要があります。

これまで、会員のニーズに適確に応える様に、本県農業農村整備事業の推進役として尽力してきたところですが、皆様方の体制強化に対してもしっかりと支援していくこととしております。

本年も、会員の皆様と一丸となって「力強い佐賀の農業・農村づくり」をめざし、邁進したいと思っておりますので、なお一層のご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げますとともに、皆様方の益々のご健勝とご活躍をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

0 年 い さ つ



新年の御挨拶

佐賀県 農林水産部

副部長 下 川 智 志

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から農業・農村の振興に多大な御尽力をいただいておりますことに対しまして、深く感謝を申し上げます。

去年は、豪雨や台風などにより、各地で数多くの方々が自然災害に見舞われました。本県においても台風15号の影響を受け、県産米の作況指数が「58」と、統計史上最悪2位、全国ワーストとなりました。水田農業の経営は、米価の低迷、農業者の高齢化や減少など、厳しい状況にあり、離農も考えなければならないといった声も聞かれる中、こうした方々に頑張ってもらえるよう県としてもしっかり支援をしたいと考えます。

甚大な被害をもたらす自然災害が毎年のように発生している中、安全・安心な農村づくりのため、ため池マップや浸水想定区域図を作成するなど、地域住民の避難行動につながる対策を推進しているところです。併せて低平地である佐賀平野にとって宿命となっている内水排除対策については、クリークの事前排水やため池の有効活用を行うなどして、国が進める国土強靱化を加速することが求められます。

国の令和2年度農業農村整備関係の概算予算決定では、今年度と同水準の予算規模が確保されており、会員の皆様方が関係者と一緒になって、必要な行動を続けていただいた成果であると感謝しています。県といたしましても、引き続き全力で支援をさせていただきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

また、県では、昨年8月に「稼げる農業の確立」や「活力ある農村の実現」に向けた「佐賀県『食』と『農』の振興計画2019」を策定しました。本県は、他県に先駆けて実施してきた生産基盤を活用し、米・麦・大豆をはじめ、イチゴやアスパラガスなどの施設園芸についても、全国に誇れる農産物が生産されるなど、県内のそれぞれの地域で農業農村整備事業による効果が見られます。本年度からは農林水産部をあげて、農業産出額の向上を図るための『さが園芸生産888億円推進運動』や、山を大切にするための『さがの元気な中山間地域づくり対策』に取り組んでおり、農業農村整備関係につきましても、これらの施策と一体的に生産基盤の省力化や効率化の整備など、地域が描く農業の将来像の実現に向けた取組や中山間地域の振興に向けた取組を積極的に進めることとしています。

いずれにいたしましても、これからの本県農業・農村の持続的な発展のためには、効果的かつ効率的な各種施策を積極的に進めることが重要と考えており、今後とも、農家、土地改良区及び市町等の関係者の方々の意見に十分耳を傾けながら各種施策に取り組んでまいりますので、皆様方のなお一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様方の益々の御発展と御多幸を祈念しまして年頭の挨拶と致します。



新年にあたって

全国土地改良事業団体連合会
会 長 二 階 俊 博

令和二年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

昨年は、6月、8月の大雨、さらに台風第15号、第19号による暴風雨等により、全国各地で非常に多くの災害が発生しました。お亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災をされた多くの皆様に、衷心よりお見舞いを申し上げます。

また、復旧・復興のために、被災地の最前線に立って日夜ご尽力頂いている多くの土地改良関係の皆さまに心から敬意を表しますとともに、厚く御礼を申し上げます。

さて私は、本会の会長に就任して以来、「闘う土地改良」を掲げて参りました。そして組織一丸となって闘った結果、平成から新しい元号「令和」となる大きな節目の年に、補正予算などを含めまして、大幅削減前を大幅に上回る予算を確保することが出来ました。

令和2年度予算につきましては、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案においては、昨年度当初予算を上回る4,433億円を確保することができました。さらに、令和元年度の補正予算・臨時特別措置枠を含めると6,515億円となります。皆さまの活動に深く敬意を表しますと共に、心から御礼を申し上げます。

また、昨年7月の参議院選挙におきましては、宮崎雅夫君が強豪ひしめく厳しい闘いの中、見事、勝利を勝ち取りました。進藤金日子参議院議員とともに、土地改良にとって実に12年ぶりの「車の両輪体制」が実現したわけです。

このように土地改良は、新しい元号「令和」の幕開けにふさわしいスタートを切ったわけであります。これも一重に「闘う土地改良」の旗印の下、組織一丸となって闘った結果であり、皆様方の御協力の御陰であります。

いま、全国の農業農村では、過疎化・高齢化、担い手不足に加え、地域活力の低下などの課題が山積しております。また、コメなどを巡る先行き不安から、状況が一段と厳しくなっております。一方で、全国で農業水利施設の老朽化が進行しており、食料生産の増大、非食料用米への転換に支障を来すばかりでなく、国民の生命や財産にも多大な損害をもたらすのではないかと危惧されております。特にここ数年は大規模な風水害により、農地・農業用施設でも大変大きな被害が続いており、平成30年の7月豪雨では、全国で32カ所のため池が決壊し、尊い人命も犠牲になるなど未曾有の被害が発生しました。

これらの農業農村の危機的な事態に鑑み、2年続けて土地改良法が改正されるとともに、老朽化したため池の整備について抜本的な施策を講ずるため、長年の懸案であった「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」が国会で成立、施行されました。さらにいま、政府・与党では「食料・農業・農村基本計画」の見直しも議論されているところであります。

私たち土地改良担当者としては、これら政府の動きと軌を一にして、これまで培ってきた技術と蓄積された経験を活用し、「闘う土地改良」を活動の基本におきつつ積極的に貢献していくことが重要であると考えており、加えて、水土里ネットが農業農村を守り、発展させていくことの重要性について広く国民の皆様にアピールし、共感を得ていく努力が必要と考えます。皆様と一体となって取り組み、所期の成果が得られますよう、引き続き奮闘して参りたいと思います。

最後になりますが、本日、輝かしい年の初めに当たり、本年も農業農村が活力を得て、一層発展しますようご期待申し上げますとともに、本年が全国の皆様にとってよき年であり、日々健やかに過ごされますようご祈念申し上げまして、私の新年のご挨拶といたします。

0 年 い さ つ



新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員 進 藤 金日子

新年明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。昨年は、「令和」の御代に移り、多くの国民が寿ぐ中で天皇陛下が御即位されました。「令和」の時代が平和で穏やかであるようにあらためてご祈念申し上げます。他方、昨年も多くの自然災害が発生しました。被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。今年こそは災害の無い年になるように祈念して止みません。

今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、総務大臣政務官としての私の担務である「国勢調査」(初回開始後百周年)も行われます。多くの国家的な行事の成功に向けて、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

さて、昨年末に令和元年度補正予算と令和2年度当初予算の政府原案が閣議決定されました。土地改良予算としては、総額で6,515億円(対前年度比64億円増)を確保できました。これも偏に、農業の競争力強化と美しい農山村の形成に不可欠な土地改良の実施に向けての現場からの強い要請と関係者の皆様の熱意を政府と与党にしっかりと受け止めていただいた結果です。貴重な予算が一日も早く現場に届くよう、今次通常国会で早期成立に向けて努力してまいります。

今回の予算の特徴は、引き続き「国土強靱化」に重点が置かれたこと、水田の高度利用対策が更に重点化されたこと、農業の競争力強化に加えて中山間地域等の条件不利地域の振興対策が手厚く措置されたことだと捉えています。予算の増額措置により土地改良が更に促進されますが、貴重な予算を効率的、効果的に執行し、土地改良に対する国民の皆様の期待に応えていくことが重要です。

昨年末、自民党農村基盤整備議員連盟総会において、ため池の整備促進を図る特別措置法を議員立法として検討することが提案・了承されました。ため池の保全管理を図る法律は、昨年制定・施行されましたが、整備促進に関する多くの課題が現場から提起されています。現場の実態に真摯に耳目を集めつつ検討を深め、与野党問わず多くの国会議員のご理解を得るべく努力してまいりたい所存です。

皆様、ご案内のとおり私の同志である宮崎雅夫さんも参議院議員として活躍しております。これも皆様方のご理解とご支援の賜物です。宮崎議員と私とが水鳥の強固な水掻きとしてフル稼働して、皆様と連携しながら「闘う土地改良」を共闘し、引き続き諸課題の解決とともに令和の新たな時代を切り拓くべく専心努力してまいりたい覚悟ですので、ご指導とご支援を宜しくお願い申し上げます。

貴会の益々のご発展と本年が皆様にとってご家族共々素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

2020年 年頭あいさつ



新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員 宮崎 雅夫

新年明けましておめでとうございます。

佐賀県の土地改良関係の皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、私にとっての昨年は大きな前進の年でありました。一昨年の1月から、土地改良の推進、農山漁村の振興のため、地球8周分に当たる30万キロ以上を移動しながら全国各地をお伺いし、地域の状況を自分の目で見て、皆様からのご意見を自分の耳で聞き、私の考えを自分の口で話をさせていただくなどの政治活動を行ってまいりました。佐賀県の皆様をはじめ全国の皆様からご支援をいただき、お陰様をもちまして昨年7月末の参議院議員通常選挙において当選の栄に浴することができました。

当選後、8月1日に召集された臨時国会で初登院し、10月4日に召集された臨時国会では、農林水産委員会、決算委員会、地方創生及び消費者問題に関する特別委員会、資源エネルギーに関する調査会に所属しており、皆様と国政を繋ぐパイプとしての役割を果たせるよう日々努力してまいります。

昨年は、8月に発生しました前線に伴う記録的な豪雨災害により佐賀県内における農林水産関係の被害額は127億円にのぼり、農地や農業用施設も県内各地で大きな被害が発生しました。改めて、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に衷心よりお見舞いを申し上げます。

早期の復旧はもちろんですが、土地改良の農村で果たす大きな役割を踏まえ、防災・減災、国土強靱化の取り組みを強力に進めていかなければなりません。

これらの計画的な実施には、土地改良予算の安定的な確保が必要不可欠です。皆様からの大変大きなご支援により、令和2年度は、補正予算を加えると6,515億円を確保することができました。今後ともこの流れを止めることのないよう尽力してまいります。

私は「土地改良、農山漁村は未来への礎」と訴えてまいりました。令和の新しい時代に皆様のご意見を伺いながら土地改良を推進することにより、世界に誇る我が国のすばらしい農山漁村を子供たち孫たちに引き継げるよう、先輩の進藤金日子参議院議員と力を合わせて努力をしてまいります。12年ぶりに土地改良二人体制となり、人口減少社会に突入した我が国の状況を踏まえ、土地改良の必要な見直しも大胆に進めていきたいと考えております。また、農村女性の創造力や企画力、行動力などは、これからの農村振興を加速する重要な原動力と考えています。昨年12月には「全国水土里ネット女性の会」が設立されたところであり、今後の活発な活動に私もお手伝いをさせていただきたいと思っています。引き続き進藤議員と私にご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

今年は、2020東京オリンピック・パラリンピックが開催され、更に多くの外国人の方が日本に来られることが期待されています。日本の農業、農村のすばらしさを皆様どんどん発信してまいりましょう。

最後に、本年が皆様にとってよりよい一年となりますようお祈り申し上げ、年頭のあいさつといたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

第42回全国土地改良大会（岐阜大会）開催



挨拶する全土連 二階会長

「第42回全国土地改良大会（岐阜大会）」が令和元年10月16日、岐阜県岐阜市の岐阜メモリアルセンター（で愛ドーム）で開催され、全国から関係者約4,000名が参集し、本県からは県・市町・土地改良区の総勢37名が参加しました。

式典では、伊東良孝（農林水産副大臣）、古田肇（岐阜県知事）、進藤金日子・宮崎雅夫（両全国水土里ネット会長会議顧問）ほか多数を来賓に迎え、水土里ネット岐阜の藤原会長による開会宣言で開会しました。

主催者を代表し全国水土里ネット二階会長の挨拶では、「全国各地で発生した台風・大雨によって被災された皆様へお見舞いを申し上げるとともに、復興・復旧に向けた対応をしていきたい。また、本年度は大幅な予算確保と、7月の参議院選挙において宮崎雅夫氏が見事勝利を勝ち取り、進藤金日子参議院議員とともに土地改良にとって12年ぶりの『車の両輪体制』が実現し、土地改良は新しい元号『令和』の幕開けにふさわしいスタートを切ることができた。皆様方のご支援・ご尽力に対し、厚く御礼申し上げ、更なる高みを目指していくためには、今後も『闘っていく』必要があるため、土地改良関係皆さんの一層の支援・協力をお願いしたい」と呼びかけられました。

同じく行われた「土地改良事業功績者表彰」では、本県から農業農村整備事業の推進など永年に亘る功績を称えられ、江口善己氏（川副町土地改良区理事長・佐賀県土地改良事業団体連合会理事）が全土連会長表彰を受賞されました。

また、岐阜県立恵那農業高等学校の生徒による大会宣言も行われ、式典の最後には大会旗を次期開催の群馬県へと引き継ぎ、第43回全国土地改良大会は“鶴舞う形 群馬の大地 水土里の未来へ ここから羽ばたいて”をテーマに令和2年10月14日の開催が決定しています。



全土連会長表彰 江口善己氏



佐賀県参加者

「農業農村整備の集い」開催

令和元年11月11日、東京都千代田区の砂防会館において全国水土里ネット主催による「農業農村整備の集い」が開催されました。農業農村整備事業の推進と令和2年度当初予算の獲得に向け、全国から農業農村整備関係者約1300名が集い、江藤拓農林水産大臣をはじめ国会議員105名が出席されました。本県からは土地改良区等関係者11名が出席し、岩田和親衆議院議員、福岡資麿参議院議員、山下雄平参議院議員が会場に駆け付けられました。また、先の参議院議員選挙で当選された宮崎雅夫参議院議員・全国水土里ネット会長会議顧問も出席され、「闘う土地改良」の旗印の下、組織一丸となって闘っていただいた関係者の皆様に対して厚く感謝の意を述べられました。閉会後は、採択された要請書で県選出国会議員等へ要請活動を実施しました。



進藤議員へ要請書手交



挨拶する江藤拓農水大臣



挨拶する二階会長

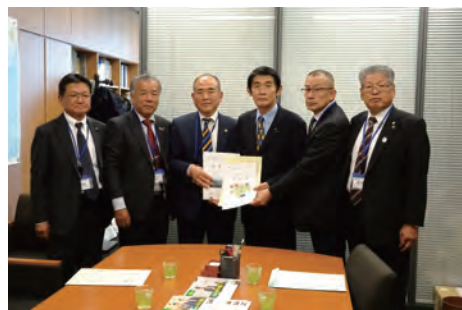
佐賀県農業農村整備事業推進協議会が要請活動を実施

令和元年11月18日、19日に、佐賀県農業農村整備事業推進協議会の江里口秀次会長(小城市長)が田島健一副会長(白石町長)ほか役員と共に、農林水産省・関係国会議員・自民党本部・財務省へ、佐賀県の農業農村の現状を説明し、令和2年度農業農村整備事業概算要求額の満額確保や令和元年度補正予算の確保などについて要請活動を実施しました。また、佐賀県がドローンを用いて作成した映像を活用し、事業効果等の説明も行われました。

- 1 令和2年度農業農村整備事業概算要求額の満額確保
- 2 農業の体質強化や国土強靱化が急がれる中、令和元年度においても、加速的な事業実施が図れるよう十分な規模の補正予算の確保
- 3 改正土地改良法の適切な実施を図るため、土地改良区の運営基盤強化に対する支援
- 4 多面的機能支払交付金(推進交付金含む)の必要額の確保及び円滑な活動への支援



財務省へ映像を用いて説明



今村衆議院議員へ要請書手交

九州農業農村整備事業推進協議会・土地改良事業団体連合会九州協議会が要請活動を実施

令和元年11月12日に、九州農業農村整備事業推進協議会と土地改良事業団体連合会九州協議会合同で農林水産省、財務省、関係国会議員へ要望活動を実施しました。本会の田島健一会長(白石町長)及び佐賀県協議会の江里口秀次会長(小城市長)を含む九州各県代表者約40名が出席し、九州・沖縄地域における農業農村整備の強力な推進に向けて要望しました。

- 1 令和2年度農業農村整備事業概算要求額の満額確保並びに九州・沖縄地域への重点配分
- 2 令和元年度の事業計画に基づく補正予算も含めた追加予算の確保
- 3 令和元年九州北部豪雨など、九州・沖縄各地で頻発している自然災害からの復旧・復興に必要な財源の確保
- 4 防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策について、令和2年度で確実に完了するための十分な予算措置
- 5 改正土地改良法を踏まえ、土地改良区の運営基盤強化に向けた十分な予算措置

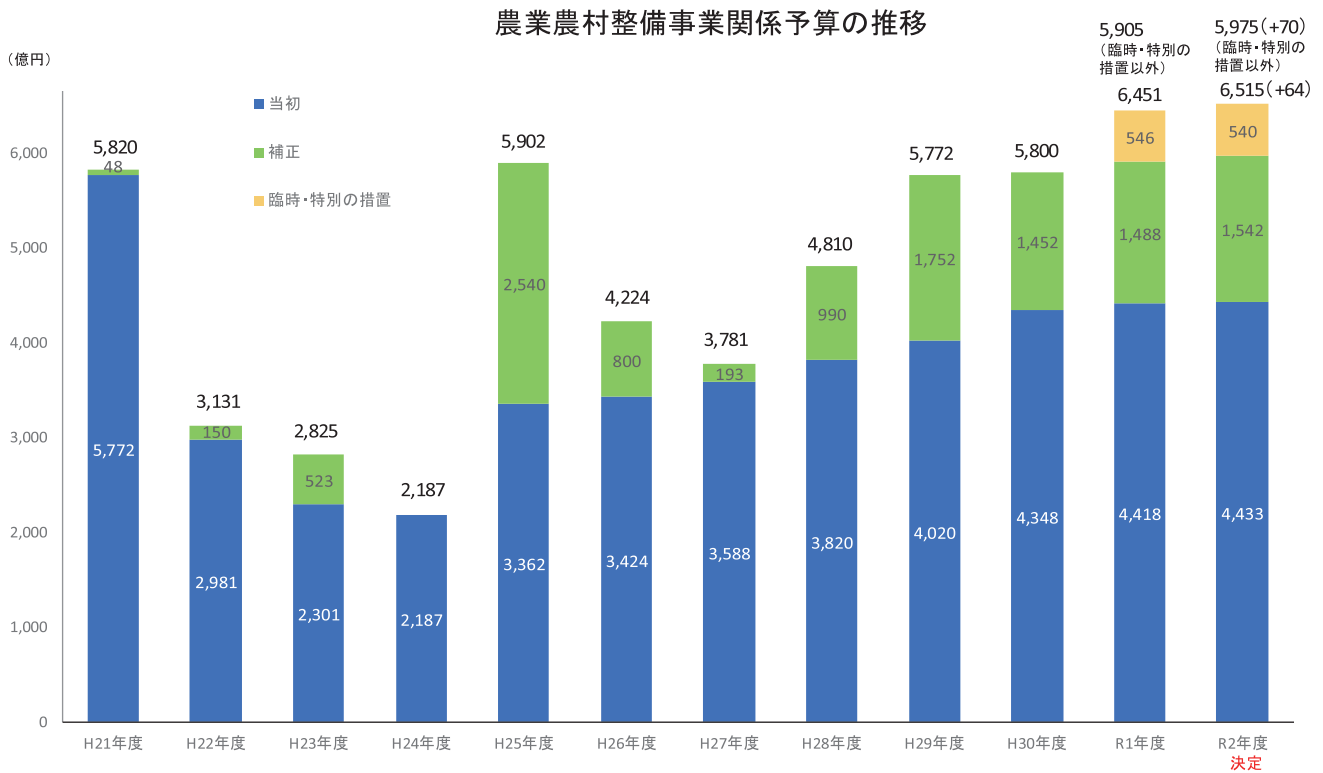
農業農村整備事業関係予算 概算決定の概要

令和元年度補正予算及び令和2年度予算の概算が閣議決定されました。農業農村整備事業関係は総額で6,515億円（うち、元年度補正1,542億円 2年度当初4,433億円 「臨時・特別の措置」540億円）が示され、前年を上回る予算確保となりました。

(単位:億円)

	令和2年度概算決定額			令和元年度 補正追加額 D	合計 C+D	【参考】 元年度概算決定額 「臨時・特別の 措置を除く」
	「臨時・特別の 措置」を除く A	「臨時・特別の 措置」 B	概算決定額 C=A+B			
農業農村整備事業(公共)	3,264 (100.1%)	511	3,775 (115.8%)	1,466	5,241 (160.8%)	3,260
農業農村整備関連事業(非公共)	508 (100.1%)	—	508 (100.1%)	14	522 (102.8%)	508
〔農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業〕						
農山漁村地域整備交付金(公共) (農業農村整備分)	661 (101.7%)	29	690 (105.2%)	62	752 (115.7%)	650
計	4,433 (100.3%)	540	4,973 (112.6%)	1,542	6,515 (147.5%)	4,418

(注)1 計算は四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。
(注)2 下段()書きは令和元年度予算額(「臨時・特別の措置」を除く)との比率である。



土地改良区役職員のみなさまへ

貸借対照表の作成が義務化されました!!

平成31年4月に改正土地改良法が施行され、**原則、全ての土地改良区（連合含む）※**を対象に、**令和4事業年度から貸借対照表の作成が義務化**されました。

※ 土地改良施設（資産評価をすべきものに限る。）の管理を行う土地改良区は、貸借対照表作成の対象となります

貸借対照表とはどのようなものですか

土地改良区における貸借対照表とは、期末における資産・負債・正味財産の状態を一覧表にまとめた財政状態を表す書類を言います。

これにより、**土地改良区の資産（施設の現在価値、積立金など）の状況が一目で分かるようになります。**

なぜ貸借対照表の作成が必要なのですか

【施設更新の円滑な実施】

- 土地改良施設の更新を計画的に進めるには、**更新費用を計画的に積み立てることが必要**です。

このためには、土地改良施設の現在の評価額、将来の施設更新に向けた積立て状況など**土地改良区の財産の状況を組合員に適切に示すことが必要**となります。



【組合員等への説明責任】

- 土地改良区には、①組合員のコスト意識の高まりに的確に対応すること、②地方公会計の複式簿記化の流れや土地改良区運営の透明性を向上させるなどの**社会的要請にも対応**することが求められています。



国による支援にはどのようなものがありますか

貸借対照表の作成（複式簿記への移行）を円滑に行うには、都道府県や地方連合会によるきめ細やかな指導・助言が不可欠です。

このため、令和元年度予算において、**土地改良区体制強化事業を拡充**するなど土地改良区の支援体制の充実を図っています！



具体的には・・・

- **地方連合会による巡回指導**を受けることができます。
- 地方連合会に配置された**税理士等の指導・助言**を受けることができます。
- 土地改良区役職員等を対象にした**複式簿記導入促進特別研修**を受講することができます。（特別研修は、全国71カ所で開催中です。）
- 今年度中に小規模土地改良区向けの**簡易な会計ソフトを開発・販売**します。
- **会計事務を合同で行うための土地改良区連合を設立**できます。また、設立のための**話し合いや事務機器の整備のための経費について補助**を受けることができます。
- **施設の資産評価に関して、地方連合会の支援**を受けることができます。

★ワンポイントアドバイス★

会計ソフトを利用する場合は、複式簿記の理解が進んでいない方でも、比較的容易に操作（仕訳）が可能です。また、農林水産省では、**小規模土地改良区向けの簡易な会計ソフト※**を開発します（消費税に非対応、賦課台帳と非連動など）。この会計ソフトは期末一括仕訳にも対応する予定です。

なお、期末一括仕訳は、収支（お金の出入りの件数）が少ない場合や複式簿記へ移行するまでの過渡期に行うことを想定しています。

※令和元年度内の開発・販売を計画。開発は補助事業として民間企業が実施。市販の会計ソフトに比べ簡易で安価。

詳しい内容のお問い合わせは、都道府県又は都道府県土地改良事業団体連合会若しくはお近くの地方農政局農村振興部土地改良管理課へご連絡ください。

なお、複式簿記に関する資料は、農林水産省ホームページにも掲載してあります。

<http://www.maff.go.jp/j/nousin/kikaku/fukushikiboki.html>

農林水産省

「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2019入選!

全国水土里ネット主催の当絵画展は、『新発見!ぼくのわたしのふるさと』をテーマとして、全国の小学生以下から5,224点(うち県内48点)の作品が応募され、厳正なる審査の結果、本県から4点が「入選」に選ばれました。児童の皆様が思い描かれた農村風景は、子どもたちの未来へと継承すべく、農村の大切さを改めてひしひしと感じられる作品となっております。

なお、全入賞作品については、令和元年12月4日から12月11日まで「東京都美術館」で展示されました。

たくさんの御応募ありがとうございました。



【入選】

「さかえのくにまつり こどもみこし」

佐賀市立日新小学校(1年)

音成 はるき さん



【入選】

「しゅうかく」

江北町立江北小学校(1年)

田口 英虎 さん



【入選】

「ぼくのすむまち」

江北町立江北小学校(1年)

遙山 淳仁 さん



【入選】

「おじいちゃんのいねかり」

江北町立江北小学校(3年)

江頭 舜 さん

どかいれんの話題

令和元年8月佐賀豪雨災害被災地を宮崎雅夫参議院議員が視察[令和元年9月14日]

令和元年9月14日、宮崎雅夫参議院議員が8月に佐賀県を襲った佐賀豪雨災害被災地を視察され、九州農政局の鈴木浩之農村振興部長と石山明彦防災課長、本会会長の田島健一（白石町長）が同行されました。宮崎議員は、佐賀県及び関係市町の首長や土地改良区役員から説明を受け、農地や土地改良施設はもちろん、被災者が1日でも早く元の生活の戻れるよう、早期復旧復興の実現に向け最大限の努力をすると述べられました。

視 察 地	主な対応者 [各地概要説明：県農山漁村課 島内課長]
大町町（福母地区）	大町町役場（水川町長、森農林建設課長、ほか） 大町土地改良区（岩淵理事長、鵜池副理事長、ほか）
多久市（羽佐間地区）	佐賀西部土地改良区（林理事長、副島局長、ほか）
多久市（納所地区）	多久市納所土地改良区（樋口理事長、七田局長、ほか）
小城市（西分ため池）	小城市役所（江里口市長、西村産業部長、木塚農村整備課長、ほか）
佐賀市（大井手幹線水路）	佐賀土地改良区（山下局長、ほか）



大町町の被災状況説明を行う田島会長



西分溜池（小城市）を視察する宮崎雅夫氏

令和元年8月佐賀豪雨災害からの復旧・復興支援状況[令和元年10月21日～]

豪雨などの自然災害により被災した農地・農業用施設の応急的な対策や現地調査、復旧工事へ向けた設計書作成には、より専門的な知識と早急な対応が必要になります。

水土里ネットさがでは、豊富な知識と技術力で災害からの早期復旧・復興へ向けた支援を行っており、また、九州管内の土地改良事業団体連合会へも支援の輪を広げ、技術者が不足する市町へ対して人的・技術的支援を行い、復旧・復興の更なる加速化の後押しを行っております。

九州管内県土連による職員派遣実績（令和元年12月末）

派遣元所属 （県土連）	支援期間	派遣者数 （期間内総数）
長崎県土連	10月21日～11月30日	3名
熊本県土連	10月21日～12月27日	7名
大分県土連	11月 5日～11月30日	2名
宮崎県土連	10月21日～12月 7日	2名
佐賀県土連	12月 9日～12月27日	3名

派遣先：武雄市役所営業部農林課



災害復旧を支援する各県土連職員（武雄市役所内）

令和元年度 複式簿記導入促進特別研修会を開催[令和元年9月12日]

全国水土里ネット主催により佐賀市内（グランデはがくれ）において、県内土地改良区の役職員及び各農林事務所担当職員を対象に開催されました。

この研修会では、「新たな土地改良区会計基準や土地改良施設の試算評価マニュアルの照会と減価償却について」九州農政局土地改良管理課・石村係長、「複式簿記の基礎知識や対し貸借対照表の作成方法について」全国土地改良事業団体連合会・金内主任からそれぞれ実例などを交えて丁寧に説明されました。

また、平成30年4月に土地改良法が一部改正され、決算関係書類として現行の収支計算書等に加え「令和4事業年度から貸借対照表の作成・公表しなければならない」と義務化されることから、基本的な勘定科目の仕訳や仕訳等の実践演習について72名の受講者は熱心に取り組まれていました。



九州・沖縄ブロック換地関係異議紛争処理実務研修会〔令和元年11月20日～21日〕

土地改良区体制強化事業において「換地関係異議紛争処理実務研修会」が佐賀市内（グランデはがくれ）で開催され、九州・沖縄管内から52名が出席しました。また、佐賀県農地整備課武藤課長を御来賓に迎え、農林水産省土地改良企画課難岡企画官、九州農政局土地改良管理課中村課長をはじめ多くの関係者の御出席を頂きました。

この研修会は、換地業務を進めていくうえで地権者や関係者からの異議紛争事例や実務事例を各担当者が発表し、制度的または実務的な側面から検討した解決方法や現在調整中の内容など、実務者が非常に苦慮しながら対処した事例について討議されました。

本研修会が今後の換地関係異議紛争の未然防止や異議紛争処理の参考となれば幸いです。



令和元年度 土地改良区役職員研修会を開催〔令和元年12月5日〕

土地改良区役職員を対象に、理事・監事が担う役割や土地改良法改正を踏まえた土地改良区の運営体制強化など、多岐にわたる内容について研修会を開催しました。

九州農政局土地改良管理課中村課長をはじめ、佐賀県農地整備課小柳係長、同園芸課久納係長らを講師にお招きし、具体例を交えながら分かりやすく御講義いただきました。また、平成29年度に全国土地改良事業団体連合会が実施する農業農村整備優良地区コンクールで、最高賞となる農林水産大臣賞を受賞された「塩田東部土地改良区」の織田伊津子氏による事例発表では、農家の減少や高齢化が深刻化する中、同地区内の農地を法人化することで作業効率を上げるとともに、担い手の確保や農家の所得向上に向けた取り組みなどについて講演され、およそ280名の参加者は真剣な表情で受講されていました。



「全国水土里ネット女性の会」設立総会及び研修会開催〔令和元年12月10日〕

全国水土里ネットでは、女性が土地改良事業推進の中核を担える環境づくりを進めることを目的に、都道府県水土里ネットに在籍する女性職員を構成員として、この度「全国水土里ネット女性の会」が設立されました。

設立総会後は引き続き研修会が開催され、「今後の農業・農村における女性の活躍に期待すること」と題したパネルディスカッションでは、パネリストにタレントの「おりも政夫」氏やフリーアナウンサーの「名越 涼」氏らと会場参加者による対談が行われました。

今後、「水・土・里」に携わる女性職員間のネットワークを広げ、情報共有や連携の強化を図りながら、更なる農業農村整備の発展に寄与されることを期待します。



～ひと言～

水土里ネットさが 総務企画課 主事補
貞富光美(令和元年度 採用)

「佐賀平野『水と歴史』の探検隊」スタッフ参加

「現場研修に行ってきた」と上司からの命令を受け、今回の参加をとても楽しみにしていました。北山ダムや川上頭首工の役割を知ることができ、非常に勉強になりました。特に、北山ダムの監査廊探検は貴重な体験でした。ほかのスタッフの方々や小学生との交流も楽しかったです。もしまた参加できたら、より多くのお手伝いができるよう頑張ります。

(開催：令和元年8月23日 主催：佐賀土地改良区)



監査廊で立ちすくむ(?)ようす[手前から3人目]

連合会手帳

主な行事

開催日	内 容	開催地
1月 6日	執務始め式	佐賀市
1月 9日	都道府県水土里ネット事務責任者会議	東京都
1月10日	理事会	佐賀市
1月11日	佐賀県農地・水・環境フォーラム	佐賀市
1月28日	第62回通常総会議案説明会	佐賀市
2月13日	第62回通常総会	佐賀市
2月13日	土地改良事業における財産管理制度活用マニュアル説明会	鹿児島県
2月18日	災害復旧技術向上のための研修	佐賀市
2月26日	都道府県水土里ネット事務責任者会議	東京都
3月26日	全国土地改良事業団体連合会通常総会	東京都

非補助農業基盤整備資金のご活用を

土地改良区等が国からの補助を受けないで実施する土地改良事業・生産基盤整備事業等に対して、日本政策金融公庫等が農家負担の軽減を目的に土地改良区等に対し低利で融資する資金です。国の補助事業でない事業（県又は市町単独補助事業）についても融資の対象となります。

【融資用途の例】

- かんがい排水やほ場整備、客土等の事業を実施し農業基盤整備の整備・保全の推進を図る場合の費用
- 農業集落排水事業の実施において、国等の補助金以外の受益者が負担する部分（トイレ、浴室、洗面所の改修）
- 土地改良区等が行う土地改良施設の維持管理事業に対して、揚排水機場・用排水路・フェンス等の設置又、土地改良区の事務所の建設、事務機等の購入の費用

利 率	融資時の利率は金融情勢により変動
償 還 期 間	25年以内（うち措置期間 10年以内）
貸 付 限 度 額	農家負担額（最低額 50万円）

【資金融資】

総務部 換地用地課 tel. 0952-24-6474

土地改良施設賠償保険のご案内

土地改良法に定められた用排水路、ため池及び農道等で思わぬ事故が発生し、人が死傷したり物が破損した場合、管理者である国・県・市町村・土地改良区等は、被害者やその遺族から管理ミスを理由に治療費や慰謝料を請求されることがあります。

このような時に生じる損害賠償を保険金としてお支払いするものです。

【賠償保険】 総務部 換地用地課 tel. 0952-24-6474

施設種別	保険料
農 道	60円/km
用 排 水 路	60円/km
溜 池 ・ 貯 水 槽	250円/箇所
パ イ プ ラ イ ン	600円/km

土地改良法律相談で問題解決の糸口を！

当会では土地改良事業（土地改良法）に関する諸問題に対して、顧問弁護士が法律的な観点から問題解決へと努めています。

相談費用は当会が負担しておりますので、まずはお気軽にお問い合わせください。

【これまでの主な相談内容例】

- ◎賦課金滞納処分に関する相談
- ◎土地改良区運営に関する相談
- ◎土地改良事業を円滑に遂行するための相談



【法律相談】

総務部 換地用地課 tel. 0952-24-6474

～会員のうごき～

（令和元年12月末）

管内	市町	改良区	計
佐賀中部	3	21	24
東部	6	9	15
唐津	2	3	5
伊万里	2	3	5
杵藤	7	9	16
計	20	45	65

広報土地改良だより 2020.1 Vol.189
編集・発行／佐賀県土地改良事業団体連合会
〒840-0811
佐賀県佐賀市大財三丁目8番15号
tel. 0952-24-6268（代）
fax. 0952-24-6221

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年は何ととっても東京オリンピック・パラリンピックに注目が集まることから、日本では節目の年となります。また、今年は「子年」にあたり、新しい十二支のサイクルが再び始まります。

「ねずみ」＝「寝ず身」とされ、コツコツ真面目に働く人が多いとか。また、「火事の前にはねずみがいなくなる」「ねずみは沈む船を去る」といったことわざがあるほど、鋭い勘を備えているそうです。

株式市場でも「子年は繁栄」という格言があるそうで、株価が上昇する傾向にあると言われています。今年のオリンピック・パラリンピックによる経済効果を考えると、あながち間違いではなさそうですね。

本年も「さかの土地改良」の御拝読をどうぞよろしくお願い申し上げます。（M）

